



子どもの新年外四首

ま
う
へ

子どもの新年

小指折りまちらわぶる子らの新年を

むかへてやがて何求むらん

親の新年

新年をいさみ迎ふる子らの爲に

今年の幸をまづ祈るかな

新年

しばらくは池にひそめる龍の子の

天かけり行く年は來にけり

教の道

蔭かぬ種の生えむものは人の子の

教の道もおなじとぞ思ふ

爐邊閑讀

おもふどち語らひ居れば埋火の

にほうあたりは冬としもなし

割烹十二月月 (むつぎ)

石井泰次郎

一月の料理には、名のめでたきを以て、第一となすが今も流行なり、屠蘇の昔すぎたる、饅餅の今様なるも、だいたい、かちどり、梅ぼし、